

江南ロータリークラブ

# Weekly Report

2026-27



持続可能なインパクトを生み出そう

創立 / 1965年5月22日  
例会日 / 毎週木曜日 PM12:30～  
会場 / 江南商工会館1F 大ホール  
江南市古知野町小金112  
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F  
TEL / 0587-55-6554  
FAX / 0587-59-7720  
URL / <https://www.kounan-rc.com/>  
Mail / [kounanrc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kounanrc@beach.ocn.ne.jp)  
会長/近藤 道磨 幹事/佐藤 弘夫 会報委員長/青山 英明



2026 年(令和 8 年) 9 月 12 日(土)晴れ 第 2884 回(当年度第 8 回)例会

点 鐘

会長 近藤 道磨 君

司 会

SAA 南村 朋幸 君

ロータリーソング斉唱

移動例会の為、割愛

四つのテスト斉唱

移動例会の為、割愛

— 言行はこれに照らしてから —

1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

## ゲスト 及び ビジター紹介



江南市歴史ガイドの会  
富田 弘美様



江南市歴史ガイドの会の皆様



皆さん、こんにちは。

NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟」はご覧になっていませんか？私は毎週欠かさず観ています。史実とは異なることもありますが、脚本の面白さとキャストの熱演で痛快なドラマとなっており、さらに舞台は地元、尾張が多く、私はドラマにどんどん引き込まれております。いよいよ次回は小牧長久手の戦いとなります。どのように描かれるか楽しみでなりません。

今年の春、豊臣秀吉は江南市出身かもと話題になりました。

「関白任官記」という古文書に秀吉の出生が「飛保村雲（ひぼむらむも）」と書かれており、曼陀羅寺がある飛保や村久野辺りで生まれたと解釈されているのです。歴史の専門家が議論を

交わし、講演会が開催されるなど、大きな話題となりました。秀吉が江南出身だと立証されると江南市民として嬉しいですね。

江南市は、織田信長や豊臣秀吉の天下統一の舞台裏を支えた超重要スポットがひしめく「戦国マニア垂涎（すいぜん）の街」だと言われます。

今回、布袋を熱く愛してやまない例会運営委員長の松野君が本日の企画をされました。ロータリアンが率先して地域の魅力を発見し、発信していくことはとても大切だと思います。埋もれていた歴史的資源を魅力的に発信することで、地域の人達が自分の街に誇りを持つきっかけとなり「郷土愛」が醸成されていくでしょう。

私は「郷土愛」を持つことはとても大切だと思っています。今の日常生活はどこにいても世界中の情報や市場とつながれる便利な時代です。机の上から国境を越え、世界中のトレンドをリアルタイムで追いかけることができます。世界中と取引ができます。こういったグローバルな時代だからこそ、自分が生き、活動しているローカルな場所への愛着と誇り、確固たる「郷土愛」が求められていると思います。私たちのアイデンティティを支えるのは「どこで生きているか」という固有の根っこです。根っこが浅い木は、どんなに大きな枝を広げても、激しい時代の風雨にあっさりと倒されてしまいます。

この地域にある歴史や文化といった唯一無二の価値を学んで「郷土愛」を育み、グローバルな時代を主体的に活動していきたいですね。今回、江南市が誇れる歴史をより深く知って、江南ロータリークラブより積極的に発信していきたいものです。根っこを深く張り巡らせ、「郷土愛」を醸成して、地域でそして世界でロータリーを楽しみましょう。

郷土愛

#### 幹事報告－別紙－ 幹事 佐藤 弘夫 君

祝 福 例会運営委員 成田 志穂 君

出席報告 例会運営委員 田中 弘一郎 君

| 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席率    |
|-----|------|------|--------|
| 54名 | 34名  | 22名  | 68.00% |

#### ニコボックス 例会運営委員 田中 弘一郎 君

近藤道麿 君、木本 寛 君、佐藤弘夫 君、田中 健 君

江南市歴史ガイドの会の皆様、ようこそ江南ロータリークラブへ  
本日の卓話、よろしくお願い致します。

倉知正憲 君、富永典夫 君、杉浦賢二 君、堀尾庄一 君、片平博己 君、岩田静夫 君、長瀬晴義 君、  
南村朋幸 君、中村耕司 君、永田広光 君、尾関育良 君、岩田進市 君、早川一三 君、伊藤かね子 君  
三輪慎一郎 君、北畑祐二 君、松野拓也 君

江南市歴史ガイドの会 富田 弘美 氏 おかえりなさい ようこそ江南ロータリークラブへ！  
本日の卓話宜しくお願い致します。  
歴史ガイドの会の皆様、ようこそ江南ロータリークラブへ！  
本日は宜しくお願い致します。

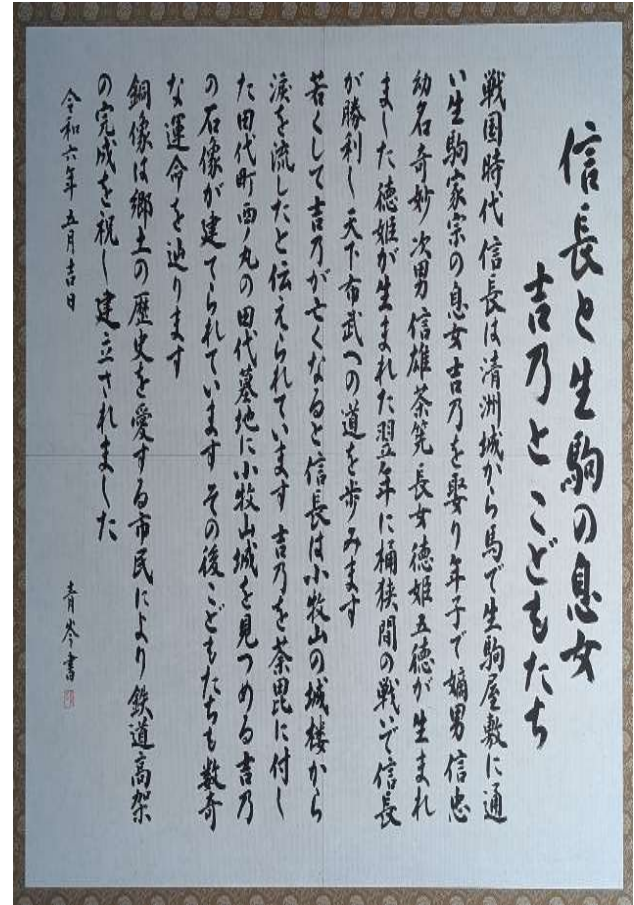
【 伝承・戦国時代の江南 】

はじめに；この歴史講話は、当ガイドの会に伝わる文献・資料等から推察される伝承です。特に織豊時代は文献に乏しく、断定される新発見が今後もされる可能性も高く、この伝承が江南の発展の一助となれば幸いです。

1. 布袋駅東口交番前の銅像のお話

誰の銅像か？ 何故ここに建立されたのか？

・ 建立された意義 → 信長にとってここはどんな場所だったのかを後世に語り継ぎたいという熱い想いから「信長の銅像建立会」によって建てられました。



2. 信長の江南での家族ヒストリー

・ 小折の生駒屋敷（後の小折城）に470年前、家督を継いだ23歳の若き信長がやって来ました。最初は、油と灰（農業用肥料・染料用）を扱い、全国に流通させる馬借業を営む大富豪の生駒家の財力と情報力に目を付けたと推察されますが、そこで生駒の息女・吉乃と運命の出会いをし、二人の間には嫡男・信忠（奇妙丸）、次男・信雄（お茶筌）、長女・徳姫（五徳）が三年間で立て続けに生駒家で生まれました。これは、信長と吉乃と子供たちとのここでの幸せなひとときの銅像ですが、その後この家族はそれぞれ数奇な運命を辿ります。

信長との出会いから10年後、吉乃は産後の肥立ちが悪く小牧山城の御台所で亡くなります。

最愛の室・吉乃の死に信長は号泣し、時折小牧山から茶毘地の経塚を眺めては涙したと伝わっています。久庵桂昌大禅定尼・享年28歳（38歳とも言われます）この戒名の久庵桂昌この戒名の久庵桂昌から、菩提寺の瑞雲山龍徳寺が曹洞宗の嫩桂山久昌寺と改名され、600石の香華料を信長から賜り、久庵桂昌大禅定尼が中興開基となりました。



小牧山城



経塚（信長の室・吉乃の茶毘地）



（表面）



（裏面）

久庵桂昌大禅定尼の位牌



織田信長



織田信忠



織田信雄



五徳

・その後、信長は天下統一の目前に49歳で、信忠は26歳の若さで共に本能寺の変で命を落としました。長女の徳姫は、母の死の翌年わずか8歳で家康の嫡男・信康に嫁ぎ、苦勞の挙句夫の死で清須城に戻り、生駒屋敷に戻った時期もありましたが、晩年は徳川家と兄の信雄の庇護で静かに暮らし京都で亡くなります。次男・信雄も北畠家の猶子として養子に出されたり織田家に戻ったり、時代の荒波の中を右往左往しながらも、残った織田家の家長として家督を守り、天寿を全うし72歳に京都で亡くなりました。

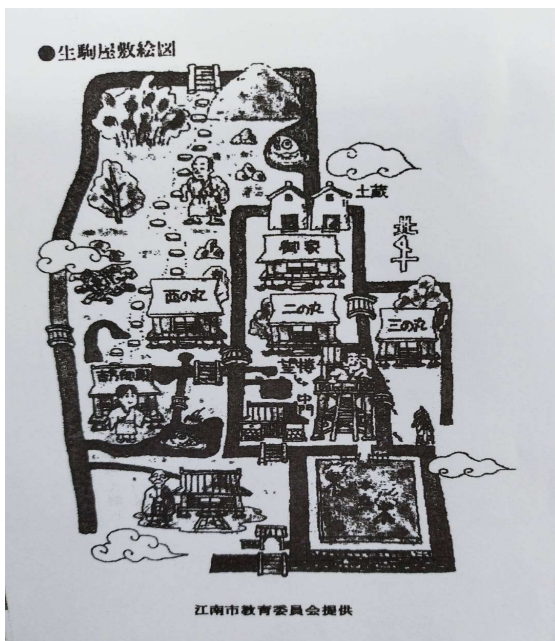
3. 信長は江南の生駒屋敷にいつ頃来たのか、写真や年表を見てみましょう。



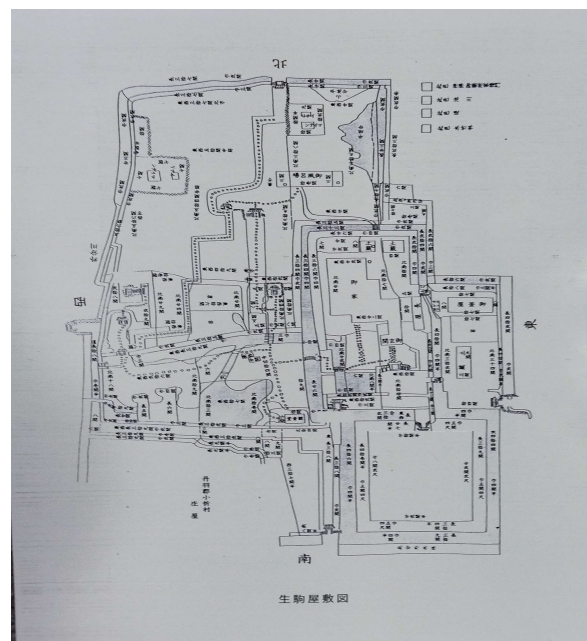
生駒屋敷跡の石碑



生駒屋敷の中門（布袋町中の廣間家の門）



生駒屋敷絵図



生駒屋敷図

## 織田信長の年表

|       |     |                                                            |
|-------|-----|------------------------------------------------------------|
| 1534年 | 1歳  | 織田信秀の嫡男として勝幡城で誕生。(幼名・吉法師)                                  |
| 1546年 | 13歳 | 古渡城にて元服。(後見役は平手政秀)                                         |
| 1547年 | 14歳 | 初陣：吉良吉田にて今川義元と対陣。                                          |
| 1548年 | 15歳 | 斎藤道三と父・信秀の和睦のため道三の娘と結婚。                                    |
| 1549年 | 16歳 | 松平竹千代(家康)と兄・信広を交換。(家康との初対面)                                |
| 1551年 | 18歳 | 父・信秀病死のため末盛城で家督を継ぐ。                                        |
| 1553年 | 20歳 | 尾西の聖徳寺にて道三と会見。                                             |
| 1555年 | 22歳 | 叔父・信光と共謀し清須城の信友に勝利し清須城入城。                                  |
| 1556年 | 23歳 | 道三が嫡男・義龍に敗死し信長に遺言で「国譲り状」を残す。<br>稲生の戦い(柴田勝家+弟・信行)を撃破。吉乃と出会う |
| 1557年 | 24歳 | 謀反を企てた信行を清須城にて誘殺。長男信忠誕生                                    |
| 1558年 | 25歳 | 浮野の戦いで岩倉城・信賢を撃破。次男信雄誕生                                     |
| 1559年 | 26歳 | 上洛し足利義輝に謁見。岩倉城落城。尾張統一 長女五徳誕生                               |
| 1560年 | 27歳 | 桶狭間の戦いに勝利(今川義元を討つ)                                         |
| 1561年 | 28歳 | 斎藤義龍が急死→美濃攻略開始。墨俣に砦。斯波氏滅亡。                                 |
| 1562年 | 29歳 | 家康と正式に同盟。(清州同盟) 五徳・信康(家康の嫡男)婚約。                            |
| 1563年 | 30歳 | 清須城から小牧山城に移城。(兵農分離) 吉乃・御台所で入城                              |
| 1566年 | 33歳 | (伝)墨俣一夜城 吉乃・小牧城で死去(信長号泣)                                   |
| 1567年 | 34歳 | 樂市樂座の制札。「天下布武」の朱印を使用。五徳を信康に嫁がせる。                           |
| 1568年 | 35歳 | 足利義昭を奉じて上洛。                                                |
| 1570年 | 37歳 | 姉川の戦いに勝利。第一次信長包囲網                                          |
| 1571年 | 38歳 | 比叡山・延暦寺を焼き討ち。皇室・公家衆救済の為の施策。                                |
| 1572年 | 39歳 | 三方原の戦いで武田軍に大敗。本願寺を軸に第二次信長包囲網                               |
| 1573年 | 40歳 | 室町幕府を滅ぼす。一乗谷攻略・朝倉氏滅亡。小谷城攻略・浅井氏滅亡。                          |
| 1575年 | 42歳 | 長篠・設楽原の戦い・武田軍を撃滅。家督を嫡男・信忠に譲る。                              |
| 1576年 | 43歳 | 近江国に安土城を築城。                                                |
| 1582年 | 49歳 | 本能寺の変で自害。                                                  |

## 4. 江南と三英傑との関係⇒江南の歴史を見れば三英傑の見方が変わります。

- ・ここ江南には信長だけでなく秀吉・家康の他の三英傑も来ています。



豊臣秀吉

\* 秀吉は、針売りの行商をしながら、諸国を廻り信長の家臣になりたくて、生駒屋敷に現れ、吉乃様に取り入り、信長に近づき家来になったと伝わっています。またここで蜂須賀小六正勝や前野長康とも出会っていると思われます。その後、蜂須賀党・前野党の川並衆の協力で大出世をしていきます。



徳川家康

\* 家康は、小牧・長久手の戦いの時に信雄と生駒屋敷に訪れ、古墳だった富士塚に登り、秀吉軍の布陣をを視察しました。そこで、戦いの作戦を練ったとも言われています。或いは湿地帯の江南の治水の必要性を考えていたかもしれません。(家康は義直に江戸時代の初めに御囲堤を築かせました)

## 5. 戦国時代の江南の様子 (江南の3つの屋敷)

- ・戦国時代のこの辺りには、主に3つの大きな屋敷がありました。まず、前野長康などの前野三兄弟を輩出した武門の家の前野屋敷です。武勇に秀でているのみならず、軍用馬の育成もしていたので長康は馬術の技術で信長から駒右衛門の名を貰いました。その頃の当主で前野三兄弟(宗吉・長康・勝長)の父・13代宗康は、岩倉城の軍奉行でした。宗康の弟が坪内将監が築いた松倉城と名籍を継いだので、長康は叔父の松倉城で蜂須賀正勝と義兄弟の契りを結び、共に川並衆を率いて秀吉に仕えました。(妻は松倉城・坪内家の娘)
- ・次に美濃の土岐氏が尾張の見張り用の出城として建てた安井屋敷(宮後城)です。ここは、初代・安井屋敷に帰ってきて間借りします。ここで正勝は、前野長康の叔父が城主を務める川島の松倉城に通い詰め、川並衆の頭目として野武士軍団を率います。その後、安井屋敷では母の弟に長男・長吉が生まれますが、弟の妻の実家の浅野家に養子に出されます。その子が後の浅野長政です。その後もこの屋敷に蜂須賀家が住み続け、蜂須賀家政はここで生まれ、曼陀羅寺の本誓院の寺子屋で学問を学びました。安井屋敷は、川で仕切られた天然の掘割があり櫓もある広大な屋敷だったので宮後城と呼ばれていました。小牧長久手の戦いで秀吉軍の砦になってましたが、その後秀吉が廃城にしました。

6. この3つの屋敷は、互いに婚姻によって親戚関係にあり親しい間柄でした。
- それだけでなく、美濃の土田家や森家、犬山城の三輪家などとも姻戚関係で密接な関係にありました。（相関図を参照してください。）そんなことから信長は、この地にやって来た事により、家族だけでなく有力な家臣団を得ることも出来ました。これが、銅像の台座の大小様々な石を積んだ野面積みの石垣の意味です。
  - それでここ江南ゆかりの有名な戦国武将が多く、まず江南市が指定した7人から調べ進めていくと12人になってしまいました。（「江南ゆかりの歴史上の人物」の表を参照して下さい。）
7. 大河ドラマの「豊臣兄弟」との関係のお話です。
- 秀吉の大出世の基となった「墨俣一夜城・築城大作戦」の協力をした川並衆のお話です。信長の命により墨俣城築城の命を受けた秀吉は、弟・小一郎（長秀→秀長）と共に、川並衆の蜂須賀正勝と前野長康の元に協力を要請に来ます。その頃秀吉は僅か100名程の足軽隊長でした。弟・小一郎の美辞麗句もなく訥々と話す姿に、「仁義に熱く実直で朴訥な御仁」と心を動かされ、川並衆（蜂須賀党・前野党）2千余りの協力を約束しました。この時の様子は前野家文書（武功夜話）で伝えられています。この時以来、前野長康は秀長の副将として共に戦い、築城や天皇行幸の補佐も千利休らと共にしています。秀長が長く生きていたら、日本の歴史は大きく変わり、利休の死も秀次事件の連座で長康親子が切腹する事も前野家が断絶する事も無く、もしかしたら徳川の世も無かったかもしれないと思うと、江南にとっても残念でなりません。

\* 終わりに

伝承していく為に、江南ロータリークラブの皆様方で、石碑や江南の歴史は、幅広く深いものが他にも多々ありますが、それらを看板などの設置にご協力を賜れたら幸甚に存じます。



織田信長とその側室吉乃、そして子供たちの像の前で集合写真

点 鐘

会長 近藤道磨 君

本日の食事



（担当：会報委員会 北畑祐二）